



ガバナー月信



1 2026
月発行
vol.7

2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S Monthly Letter



フランチェスコ・アレツツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

ガバナー月信 vol.7 目次

細川 好弘 PG 計報



細川 好弘 PG (静内 RC)
2025年11月18日ご逝去
(享年92歳)

2p

追悼メッセージ



国際ロータリー第2510地区
パストガバナー
安孫子 建雄
(江別 RC)



第8グループ
静内ロータリークラブ
会長 高田 敏文

3p

ガバナー公式訪問報告

小樽南 RC

8/8(金)



室蘭北 RC

10/28(火)



Rotary



千歳セントラル RC 創立35周年記念式典



創立35周年を迎えて
第7グループ
千歳セントラルロータリークラブ
会長 南雲 勇次



ロータリー財団地域セミナーに出席して



ロータリー財団地域セミナーに出席して
地区ロータリー財団委員会
委員長 石丸 修太郎
(札幌西 RC・PG)



OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ 11月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団	9p
■ 細川好弘 PG 計報	2p	■ 地区公共イメージ向上委員会より	11p
■ ガバナー公式訪問例会報告	5p	■ ハイライトよねやま	12p
■ 千歳セントラル RC 創立35周年記念式典を迎えて	6p	■ コーディネーターNEWS	14p
■ ロータリー財団地域セミナーに出席して	7p	■ 11月会員数・例会数報告	17p
■ 新会員のご紹介 / 計報	8p	■ 地区カレンダー 1月・2月	18p
		■ ガバナー事務所からお願い	19p

今月の写真「様似駅」



終着駅は、終わりを告げる場所ではない。

歩みを止め、自らの来し方を見つめ、次の一步を選び直すための「間」である。

「様似駅」は、その静かな覚悟を、そう私に問いかけていました。そして、未来へ向かうための「立ち止まる勇気」を確かに語ってくれました。

(撮影日) 平成20年10月12日：玉井ガバナー



変化を恐れず、未来を拓く－職業奉仕とともに－

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

会長、幹事の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さまにはご家族おそろいで、健やかに輝かしい新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、皆さまのお力添えのおかげで、公式訪問をはじめとする地区行事を無事に終えることができました。それぞれのクラブが自主性を最大限に發揮し、自由闊達なクラブ運営と奉仕活動を推進されている様子を拝見し、ロータリーの力強い未来を感じるとともに、それらの多くの活動は望外の喜びでございました。ロータリ一年度も折り返しを迎えた。残る半年も、心新たに、原点に立ち返りながら力強く歩みを進めてまいりましょう。

本年度、私は「気づき」や「変化」を皆さんにお伝えし、「クラブの将来ビジョンづくり」「夢を描くことの大切さ」を皆さんに訴え続けてまいりました。

チャールズ・ダーウィンは著書「種の起源」の中で、「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのでもない。唯一、生き残るのは、変化に対応できる者である。」と発表しております。ロータリーの進化もまた、「最も強い者」ではなく、「変化に対応した者」が生き残る、というダーウィンの言葉に通じるものがあります。進化とは、一歩ずつ積み重ねてきた無数の小さな変化の結果であり、ロータリークラブも変革・多様性・柔軟な運営を皆さんで考え、気づき、変化をもたらして進んでいただければと思っております。

「散歩のついでに富士山に登った人はいない」このような言葉を聞いたことがあります。大きな夢には、相応の準備と覚悟が必要です。そしてリーダーは、皆がその夢の実現を信じ、疑わなくなるまで、語り続けなければならないと思います。1月は「職業奉仕月間」です。ロータリアンにとって何より大切なことは、「なぜロータリアンでいるのか」「なぜロータリークラブに入っているのか」この根本を深く理解しておくことです。忙しい中、なぜ毎週例会に出席するのか。なぜ高い会費を払ってまでロータリーに関わるのか。この本質を理解できなければ、ロータリアンとしての誇りは揺らいでしまいます。

ロータリーは単なる寄付団体ではありません。「奉仕の理念を学び、実践する倫理集団」です。職業奉仕の理念は、企業の永続、社会への信頼にもつながる「生きた哲学」です。職業奉仕を実践すれば、必ずや顧客満足や従業員満足、地域社会からの評価、そして企業業績の向上につながっていくことでしょう。ロータリーに費やした時間は、未来へのかけがえのない投資です。例会で学びを深め、より多くの仲間がロータリーの真髄を理解し、職業奉仕を実践すること。それが「皆で共に栄えるロータリー」への道筋だと確信しています。

職業奉仕の根底にあるのは、「高潔性 (Integrity)」です。高潔性とは、誠実さ、一貫性、倫理を守る姿勢を意味します。欧米では、リーダーたる者は高潔性が必須条件であるとされています。私たちも、日々の仕事、人間関係、そしてロータリー活動において、倫理と高い職業水準を堅持し、公平さと尊敬の念をもって人々と接し、友情を育みながら歩んでまいりたいと思います。地区活動指針「リバイバル原点回帰」この理念を胸に、改めてロータリーの原点を見つめ、未来への歩みを力強く進めてまいりましょう。

これからますます寒さも厳しくなります。どうぞお身体にお気をつけて、輝かしい一年をお過ごしくださいますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈りいたします。



細川 好弘 PG（静内 RC）

2025年11月18日ご逝去
(享年92歳)

■略歴

生年月日 1934（昭和9）年4月21日生（島根県出身）
最終学歴 横浜国立大学経済学部卒

■ロータリー歴

1971年11月	静内ロータリークラブ入会
1979～1980年	静内ロータリークラブ 幹事
1987～1988年	静内ロータリークラブ 会長
1994～2000年	地区インターラクト委員
2001～2004年	地区インターラクト委員長
2004～2005年	地区第8グループガバナー補佐
2011～2012年	地区ガバナーエレクト
2012～2013年	地区ガバナー
2013～2014年	ロータリーの友 理事
2013年～	パストガバナー

■賞罰

1996年11月	北海道産業貢献賞（卓越技能者）
2007年10月	現代の名工（卓越技能章・厚労大臣）
2015年4月	黄綬褒章（広告美術仕上げ技能士）

■職歴

1967年11月	細川好弘廣告創業
1970年10月	廣告美術仕上げ一級技能士取得
1974年1月	静内看板塗装組合創立組合長
1993年10月	屋外廣告士（大臣認定）
2004年11月	北海道職業技能開発協会理事
2005年9月	全技連マイスター認定
2007年6月	北海道技能士会副会長・相談役
2009年10月	全国屋外廣告士会連合会北海道支部長
2011年6月	北海道屋外廣告業団体連合会副会長
2019年2月	国際ロータリー創始者ポール・ハリス氏肖像画作製

◆諸団体 履歴

1997年	社会福祉法人静内ペテカリ 理事長就任
2002年	静内観光協会会长

ガバナー事務所には細川好弘パストガバナーが書いたロータリーの創設者

「ポール・ハリス」の肖像画が寄贈され飾られております。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

ここに細川好弘パストガバナーのご遺徳を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。





細川 好弘 PG を偲んで

国際ロータリー第 2510 地区
パストガバナー

安孫子 建雄 (江別 RC)

嗚呼 またもお世話になった先輩がこの世を去られてしまいました。

細川さんと呼ばせていただきます。ガバナーの先輩後輩の間柄となつてすでに 14 年が経ちました。たくさんの思い出があります。

つい先月函館の地区大会で奥様ともども久しぶりにお会いし、親しく世間話をさせて戴きました。病気をされていましたので、少しやつれていますが、淡々とお話しされる様子は以前と変わらぬお姿でした。

「鴻恩」大きなめぐみ と書かれた表紙の冊子がこの春に我が手元に届きました。細川さんの一代記ともいえるこの冊子には、本人の人生の歩みが書かれています。何気なく目を通しているうちに細川さんの様々な姿が見えてきました。

「現代の名工」と言われる境地に何故到達したのか。お母様が彼の小学高学年の時に「うちの好弘は絵文字を書くのが上手い」と言ったことに触発されたと言っております。道が定まつたのです。以降映画館の看板を初め多くの絵や字を書きはじめています。特殊技能・広告美術の世界を進み始めました。

2015 年 4 月黄綬褒章を受けられました。その時には「さらに技術を磨いて、生涯現役でいたい」と語っておられます。地元静内では観光協会の会長を務められていました。映画「北の零年」では口ケ中の吉永小百合さんとのツーショットもあります。春の桜の PR など地元を盛り上げる活動をされていました。

さらに特筆するに社会福祉法人静内ペテカリの二代目理事長に就任されています。障害を持った人たちとの共生を目指し「みんなで、有難う、の想いをつなごう」を合言葉に情報を共有し創立 50 周年を迎えています。

「職員も利用者も家族も、共々譲り合って助け合う事が日常の生活で有る事を楽しみながら、温もりも伝わる福祉、夢ではありません」と語っています。ロータリーでの細川さんは 1971 年の静内 RC に入会後、様々役職を経て 2011 年ガバナー選出 2012 年ガバナーになりました。

第 8 グループから初めてのガバナーです。グループを挙げて組織化しガバナーアドバイスを進められました。第 2510 地区大会は成功裡に終わりました。私は次の年度のガバナーでしたので江別 RC は、大変なことを引き受けてしまい、メンバーは一からの準備を始めるにあたり静内 RC に習うことになりました。

何度も静内に通い教えを乞いました。おかげで江別でのガバナーアドバイスは無事に進めることができました。細川ガバナーはじめ静内 RC の皆さんには大変お世話になりました。

細川ガバナーが PG になってから国際大会での思い出があります。いくつか写真を紹介します。リスボン、サンパウロ、アマゾンと行きました。楽しかった事を思い出します。私にとって頼りがいのある兄のような人でした。

「ロータリーに入って人に逢う」を学びましたし、これからもまだ逢えると安易に思っていましたが、命はそれを許してくれません。

仏になられて私たちを見守ってください。

「100 歳まで生きるぞ」と書かれた冊子がこの春に届き、細川さんの意気込みを感じていたのに、一年もたたずに亡くなられたとは、不思議を感じられるをえません。

細川好弘さん本当にお世話になりました。ありがとうございました。



ユーラシア最西端ロカ岬で（リスボン）



ブラジルのレストランで



細川 好弘 PG を偲んで

第 8 グループ
静内ロータリークラブ 会長

高田 敏文

2012-13 年度に国際ロータリー第 2510 地区ガバナーをお務めになられた当クラブの細川好弘会員が 2025 年 11 月 18 日にご逝去されました。前月の最終週の例会にも懸命に出席する様子を会員にみせており、私たち会員一同は深い悲しみとともにロータリアンとしての姿に感銘を受けております。

細川会員は高校卒業から続けられていた広告、看板の技術を活かし、1967 年に細川好弘広告として創業され、技能・技術を追求しながら、また地域の方々との親交を深めながら、ご活躍の幅を広げていかれました。広告業として映画看板、大型壁画などにもその手腕を発揮され、技能士の世界でも一目置かれる存在がありました。2007 年には卓越した技能者の称号である「現代の名工」として厚生労働大臣に認定され、2015 年には広告美術仕上げ技能一筋を評価され、内閣総理大臣より黄綬褒章を授与されました。地域でも多くの公職などを歴任しながらも、職業人としての研鑽も怠らない方でした。

静内 RC には 1971 年に入会し、1987 年にクラブ会長、地区ガバナー補佐を 2004 年、そして 2012-13 年度には第 2510 地区ガバナーを務められました。第 8 グループでは未だ唯一のガバナーであり、拼命してから準備、そしてガバナ一年度を遂行するあたっては、細川会員のリーダーシップのもと、静内 RC のみならず第 8 グループ皆さんの力を借りしながら、その職を全うされました。小さな町で開催した地区大会を経験した会員たちにとっては、今なお語り継がれている一生の思い出となっております。

パストガバナーとなられてからはロータリーの友理事などを歴任しながらも、静内 RC への注力も惜しまず、相談役として後進への的確なアドバイス、若い会員への心づかいなどでクラブの象徴的存在であられました。わたくしも今年度のクラブ会長を務めるに際して、何かと頼りにしてしまい、甘えることばかりで何の恩返しもできずに申し訳ないと思うばかりです。

クラブとして細川会員を失うことは大きな損失ですが、これまで見てきた偉大な先輩の背中を忘れることなく、思いを継承して未来にむけて静内 RC をさらに発展させていきたいと考えます。

今までありがとうございました。心よりお悔やみ申し上げます。

ガバナー公式訪問例会報告

小樽南ロータリークラブ

8/8 (金)

8月8日、小樽南RCにおいて玉井清治ガバナーの公式訪問が行われました。午前のクラブ協議会では、佐藤友美会長より年度方針「恐れず挑戦し、変化に対応し、原点を忘れず未来を描く」が示され、続いて各委員会から本年度の計画報告がありました。新たに創設したクラブ活性化委員会からは出席管理の充実、会員退会防止、出席要請、会員増強、新会員育成の5項目が提示され、クラブ力向上に向けた取り組みが説明されました。その他各委員会からも、それぞれの担当事業に関する年間方針が報告されました。



例会では玉井ガバナーから50名を超える会員数を維持し活発な活動を続けている点を高く評価していただき「ここにいたるまでは大先輩方の今までご指導いただいた賜物かな、そしてそれを真剣に受け止めて若い方々が楽しく活動をされている姿が素晴らしい。」と述べられました。

次に玉井ガバナーによる卓話があり、RIの現況、会員減少への対応、UNITE FOR GOODの理念、地区大会の内容などについてご説明いただきました。

今回の公式訪問は、当クラブの目標とガバナー方針の方向性を確認し、今後の活動推進に向けて重要な機会となりました。

改めまして、玉井ガバナーお忙しいところご訪問頂き誠にありがとうございました。

室蘭北ロータリークラブ

10/28 (火)



2025年10月28日（火曜日）当クラブはガバナー公式訪問を迎えました。

会長・幹事懇談会に始まり、クラブ協議会、通常例会と玉井ガバナーとロータリーについて共有いたしました。会長幹事会では増強・会費・出席率、地区との情報共有等、色々なテーマでの玉井ガバナーのお考えのお話しをお伺い致しました。

クラブ協議会では各委員長から今年度の目標・具体的な活動についての発表を行い、玉井ガバナーの講評をもらいました。

例会の卓話では現在のロータリー活動についてのお話しと地区大会開催参加の感謝を述べられておりました。当クラブも地区大会参加で沢山の学び、喜びをもらい感謝申し上げます。短い時間ではありましたが、会長・幹事会から始まり、クラブ協議会、例会卓話と玉井ガバナーのお話を伺いし、ロータリーに対する心構えを改めて感じる時間となり、玉井ガバナーのお人柄に更に触れる事ができました。

各会員メンバーとガバナーを無事迎え入れられた事に感謝申し上げます。玉井ガバナーにおかれましてはご自愛くださいますよう、最後のクラブ訪問達成迄、無事完了する事を祈念申し上げます。

当クラブへのバナバー公式訪問ありがとうございました。



創立 35 周年を迎えて

第 7 グループ
千歳セントラルロータリークラブ 会長

南雲 勇次



2025 年 11 月 15 日（土）、創立 35 周年記念式典並びに祝賀会をホテルグランテラス千歳にて開催いたしました。会員一丸となって創立 35 周年の節目を祝いクラブの未来を願いたいとの思いを込め、開催テーマを『共に歩もう、心躍る未来に向かって』と決定し、大下和志創立 35 周年実行委員長を中心に準備を進めて参りました。

当日は、ご来賓として千歳市長 横田隆一様、玉井清治ガバナー、千歳 RC 小畠彰会長、第 2620 地区長泉 RC 杉山弘年会長にご臨席を賜りました。千歳市内奉仕団体や第 7 グループロータリークラブから多くの皆様にご出席いただき、創立 35 周年の活動に対しある祝いの言葉を頂戴しました。記念式典は、当クラブ ICT 委員会製作の工夫を凝らしたオープニング映像で幕開けし、会場が笑顔に包まれたほか、祝賀会では変面師の変面魔術ショーをお楽しみいただきました終始和やかな式典・祝賀会となりました。ご出席いただきました皆様、また創立 35 周年を迎えるにあたりご厚情を賜りました多くの皆様に衷心より御礼を申し上げます。

遡ること 35 年前の 11 月 19 日、千歳の地に千歳 RC 様をスポンサークラブとしてチャーターメンバー 38 名によって千歳セントラル RC が設立されました。

多くの皆様のご協力、そしてチャーターメンバーのご尽力により当クラブが設立され、35 年という歴史を紡いでくることが出来ました。

35 年の歴史を背負い 35 代会長としての責任を大変重く感じております。

静岡県長泉 RC 様とは友好クラブとして 28 年の関係を築き、毎年の交流、情報交換を通じて地域の課題解決に向けて会員同士の繋がりを醸成させて頂いております。

当クラブの一番の強みである仲間意識の高さを活かし、これから始まる未来に向かって奉仕活動を通じて時代に即した柔軟な考えで活動の幅を広げていきたいと思います。

当クラブは創立時の思いを大切にし、今後も変わらず地域課題に向き合い、会員一丸となって地域に住まう子供たちのため、豊かな地域環境の保全、国際奉仕に重点を置き活動に邁進して参ります。

築かれてきた 35 年の歴史を振り返り、今後さらに千歳セントラル RC を発展させ活気あるクラブへしていく事に責任感をもって取り組んで参ります。

ご協力頂いた皆様への感謝を御礼申し上げるとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。





ロータリー財団地域セミナーに出席して

国際ロータリー第 2510 地区
ロータリー財団委員会

委員長

石丸 修太郎
(札幌西 RC・PG)

去る 11 月 17 日に、RRFC 主催でロータリー財団地域セミナーが開催され、当地区からは玉井ガバナーのほか、古野ガバナーエレクと、齋藤ガバナーノミニーらが出席されており、第 1 地域のARRFC となられた出村知佳子 PG が朝早くから役員の方々のお世話を汗を流しておられました。

セミナーの最初に TRF 管理委員長ホルガー・クナーク氏が講演し、グローバル補助金や大規模プログラム補助金などを活用したロータリー会員の活躍により、世界によい変化がもたらされていることが熱く語られ、活動を支える皆様からの寄付への感謝が伝えられました。



その後、水野功 RI 理事、三木明日本財団理事長、辰野克彦国際ロータリー財団管理委員からそれぞれご挨拶がありました。また、会員増強につながったロータリー財団活動についてパネルディスカッションが行われたほか、大口寄付やローターアクトによる補助金活動の報告、さらにロータリー財団奨学生で駒澤大学前学長を務められた各務洋子さんから、ロータリーの奨学生となったことで人生が大きく変わり世界に平和をもたらす視点で活動をしてきたことなどの話がありました。

その後役員の方々から財団の活動について詳しいお話があり、大阪西南ローターアクトクラブがグローバル補助金を利用した活動の報告もされました。

最後にロータリー平和フェローの大豆本由紀さんから、ロータリーの素晴らしい思想などについての興味深い話もありました。ロータリー財団の支援を通じて活躍する学友による素晴らしい講演もありました。そのほか、ポリオ根絶活動のための DDF 寄贈表彰なども行われ、当地区も表彰されました。ロータリー財団の様々なトピックに触れつつ、学びの多いセミナーとなりました。

皆様方からの寄付金が色々なところで有効に使われている例をたくさん知ることができましたが、これを寄付の増加につなげることの難しさも感じたのは私だけでしょうか。



新会員のご紹介

(敬称略)

札幌はまなす RC

**上村 和之**令和 7 年 11 月 11 日
教育

苫小牧 RC

**船坂 昭夫**令和 7 年 12 月 5 日
ホテル

苫小牧 RC

**大森 一夫**令和 7 年 12 月 12 日
電気工事

※入会順

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。

**会員氏名：小笠原 良（千歳 RC）**

逝去日：2025 年 12 月 5 日（87 歳）

ロータリー歴： 1987 年 7 月入会

1998 - 99 年度 副会長

委員長歴：
国際奉仕委員会、会員増強委員会、SAA 委員会、
米山委員会、健康委員会、親睦活動委員会

表彰関係：
ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

羽幌 R C	梅田 初男	会員	(1回)	11月 28日
羽幌 R C	石川 士史	会員	(4回)	11月 28日
留萌 R C	串橋 伸幸	会員	(3回)	11月 25日
滝川 R C	上田恒太朗	会員	(1回)	11月 26日
滝川 R C	山本 充	会員	(1回)	11月 26日
滝川 R C	谷口 正樹	会員	(2回)	11月 26日
滝川 R C	上田 秀司	会員	(2回)	11月 26日
滝川 R C	高山 訓正	会員	(5回)	11月 26日
岩見沢 R C	三嶋 要	会員	(10回)	11月 14日
岩見沢 R C	神田 薫朋	会員	(1回)	11月 14日
岩見沢 R C	河野 芳廣	会員	(1回)	11月 14日
岩見沢 R C	斎藤 聰	会員	(2回)	11月 14日
岩見沢 R C	竹内 友康	会員	(3回)	11月 14日
岩見沢 R C	山崎 康行	会員	(3回)	11月 14日
岩見沢 R C	大作 佳範	会員	(3回)	11月 14日
岩見沢 R C	江本 勝典	会員	(60回)	11月 14日
岩見沢 R C	谷 黙	会員	(7回)	11月 14日
岩見沢 R C	菅野 聖人	会員	(8回)	11月 14日
札幌 R C	日浅 尚子	会員	(1回)	11月 28日
札幌 R C	栗林 昌弘	会員	(2回)	11月 28日
札幌西 R C	浜松 義弘	会員	(2回)	11月 28日
札幌東 R C	和田 一仁	会員	(8回)	11月 5日
室蘭北 R C	猪俣 英二	会員	(1回)	11月 28日
室蘭北 R C	松田 博文	会員	(4回)	11月 28日

米山功労クラブ

岩見沢 R C	48回	11月 14日
岩見沢 R C	49回	11月 14日
札幌 R C	46回	11月 28日
札幌西 R C	32回	11月 28日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ベネファクター

岩見沢 R C 五十嵐 一朗 会員 11月 20 日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

留萌 R C	西原 正幸	会員	(1回)	11月 25 日
留萌 R C	串橋 伸幸	会員	(2回)	11月 25 日
留萌 R C	鈴木 康伸	会員	(3回)	11月 25 日
砂川 R C	飯澤 明彦	会員	(1回)	11月 28 日
砂川 R C	堀江 和美	会員	(2回)	11月 28 日
岩見沢 R C	西方 洋昭	会員	(1回)	11月 20 日
岩見沢 R C	北澤 治雄	会員	(3回)	11月 20 日
岩見沢 R C	菅野 聖人	会員	(5回)	11月 20 日
札幌北 R C	吉井 千博	会員	(4回)	11月 2 日
札幌東 R C	星野 恭亮	会員	(4回)	11月 27 日
千歳セントラル R C	松坂 敏之	会員	(3回)	11月 19 日
室蘭北 R C	徳永 賢二	会員	(1回)	11月 30 日
室蘭北 R C	斉藤 崇	会員	(2回)	11月 30 日
函館 R C	今 均	会員	(1回)	11月 30 日
函館 R C	金子 敦	会員	(2回)	11月 30 日
函館セントラル R C	林 信平	会員	(1回)	11月 30 日
函館セントラル R C	池田 もと	会員	(1回)	11月 30 日
函館セントラル R C	村田 純平	会員	(1回)	11月 30 日
白老 R C	加藤 泰久	会員	(7回)	11月 25 日

ポール・ハリス・フェロー

江別 R C	堀井 豪	会員	11月 27 日
岩見沢 R C	河野 芳廣	会員	11月 20 日
札幌 R C	新谷 聰	会員	11月 30 日
札幌 R C	竹原 慎雅	会員	11月 30 日
札幌東 R C	村重 順土	会員	11月 27 日
千歳セントラル R C	望月 秀則	会員	11月 19 日
千歳セントラル R C	齊藤 妙子	会員	11月 19 日
室蘭北 R C	小野寺浩二	会員	11月 30 日

地区公共イメージ向上委員会より



地区公式インスタグラムを クラブの情報発信や広報活動にお役立てください

地区公共イメージ向上委員会では、幅広い年代の方々にロータリーの活動を理解していただくことを目的に「インスタグラム」のアカウントを作成しました。

地区内の各クラブでの奉仕活動などのアクションを是非地区インスタグラムを使っての情報発信、広報活動に活用してください。

対外的な奉仕活動の写真（1～5枚）や簡単な活動紹介文（概ね200字以内）を下記の「地区公共イメージ向上委員会」専用Eメールアドレスにお送りください。内容を確認させていただきインスタグラムに投稿させていただきます。

地区公共イメージ向上委員会専用Eメール
2510koukyou@gmail.com

SNS活用ガイドラインを作成しました

地区公共イメージ向上委員会では、昨今クラブや地区でFacebookやインスタグラムなどのSNSを広報活動のひとつとして活用されていることを踏まえ、皆さんが安心して積極的にSNSを活用できるように「国際ロータリー 2510地区 SNS活用ガイドライン」を作成しました。ぜひ各クラブでSNSでの情報発信にこのガイドラインをご活用ください。

[ガイドラインはこちら](#)





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 309

2025年12月12日
発行

1 世話クラブに入会 — 受けた恩を次世代に —

24,000人を超えた米山学友の中には、ロータリークラブに入会し、積極的に奉仕活動を行う学友がいます。今回は、そのひとりである金相均さん（韓国／2011-13／静岡RC）に、これまでの歩みと想いを語っていただきました。

— 米山奨学生時代を振り返って

多くの方々に温かく支えていただきました。例会参加を通じ、日本の文化や価値観に触れる中で、「与えられる側から社会へ返す側へ」という心構えを学びました。奉仕の精神に触れ、私も誰かのために行動したいと強く感じました。

— ロータリークラブ入会から現在まで

受けたご支援への恩送りを形にしたいと考え、会社員から個人事業主となった際に「子どもの未来を守り、無限の可能性を広げる」という理念を掲げました。そこで、社会貢献への思い、自分自身を成長させたいという願いが重なり、世話クラブである静岡RCに入会しました。現在は例会や奉仕活動、卓話などに積極的に参加しています。

— 米山奨学事業に対する景色の変化

奨学生時代から大きく変わりました。当時は「支援していただく側」という意識でしたが、



静岡北RCで卓話した金さん(右)

会員になると、あの頃には見えなかつた多くの努力を目の当たりにしました。奨学生の選考、世話クラブの準備など、奨学生のために動いている姿を知り、事業の重みと尊さを改めて感じました。今では「支援を受けた経験を次世代につなぐこと」を意識し、活動しています。

— 米山学友のロータリー会員として

奨学生に寄り添い、相談しやすい先輩であること。寄付は義務ではなく「未来への投資」と伝えること。奨学事業の力を自ら体現することを大切にしています。今後は「国際理解と友情の架け橋になること」を目標に、奉仕プロジェクトにも主体的に関わり、地域と世界のために行動できる会員を目指していきます。子どもの未来を守る活動にも力を入れていきたいと考えています。

2 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

-6.9%

普 -1.5% 特 -9.5%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて6.9%減（普通寄付金:1.5%減、特別寄付金:9.5%減）、約4,500万円の減少となりま

した。当月は匿名を含め7件の大口寄付がありました。今年も残すところ半月ほどですが、12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早めにご送金くださいますようお願いいたします。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日(火)当会着金分までが対象**

米山記念奨学会事務局は、12月27日(土)～1月5日(月)の間休業させていただきます。来年は1月6日(火)より通常業務となります。



3 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

2026-27 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを 12 月 1 日、都内ホテルで開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、事務局から学務・学友関連について説明。そして、危機管理につ



いて吉田知弘常務理事からお話し下さいました後、事例発表として、第 2650 地区の片山隆永委員長から年間の流れや危機管理対応等について発表していただきました。

午後の部では、事務局から広報、寄付について説明。続いて第 2700 地区の事例発表として、尾畠和隆次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後 4 グループに分かれて各地区における課題などについてのディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

4 来年の年賀状は学友がデザイン

当財団では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山記念奨学委員長、米山奨学生、日本在住の米山学友などへ毎年年賀状を送っています。

午年となる 2026 年の年賀状は、女子美術大学美術専攻洋画研究領域博士課程を修了した中国出身の米山学友、^{サブンティ} 査斐婷さん (2022-24 / 相模原南 R C) のデザインです。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

< 査斐婷さんより >

縁起の良い動物である馬と、私の創作テーマである反転した猫の頭を融合させた作品です。「成功」や「飛躍」を象徴する馬に、視点を反転させる猫の要素を加え、新たな一年に向けてお世話になつた方々と新しい学生たちへ、感謝と応援の気持ちを込めました。「2026」の数字は、巳年の蛇をモチーフにし、巳年から午年へのバトンタッチを表現しています。



上海米山学友会 総会開催のご案内

◇2026 年 1 月 17 日 (土) 16:30~20:30

◇会場：上海市内（申込終了後に決定）

◇申込先 : alumni@rotary-yoneyama.or.jp

※12/24 (水) 申込締切

[要記載事項] 代表者氏名、その他参加者氏名（全員分）、クラブ名、連絡先（メールおよび電話番号）

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

詳細は[こちら](#)

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 2 人まで選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。国内在住の学友には 25 万円、海外在住の学友には 35 万円を上限に、補助いたします。





コーディネーター NEWS

2026年1月号 No.1

発行 : Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 國際大会推進チーム

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 新保 清久（新潟万代 RC）

第1地域ロータリー財団コーディネーター補佐の新保清久（第2560地区・新潟万代RC）です。新井和雄RRFCの補佐として職務を務めて半年過ぎましたが、地域リーダー会議やロータリー財団の委員長会議、ロータリー研究会、ロータリー財団地域セミナー等に参加して最新の情報を学んでまいりました。あらためてロータリーの発展には、ロータリー財団の拡充が欠かせないことを確認しました。

さて、年度初めに寄付金について新井RRFCから会員に寄付の目標達成のお願いをするよりも、まずはロータリー財団のインパクトを伝えるように指示がありました。地区補助金やグローバル補助金を活用して地域や世界で実施するロータリーの奉仕活動は、寄付してくれた「あなたのおかげです」と会員にサンキューレターなどで感謝の意を表す活動を地区、クラブで広めるようにと指示を受けました。



近々に担当する4地区のロータリー財団委員長さんと会議を開催して、各地区のロータリー財団セミナーなどで寄付者にもっと感謝が伝わる取り組みと寄付金ゼロクラブゼロや寄付状況の確認等々情報交換をしたいと思います。併せて2013年度から始まりました世界のポール・ハリス・ソサエティ（以下PHS）の会員数は、会員全体の約2%にもかかわらず、年次寄付の22%、恒久基金を含めた財団寄付全体の20%を占めていることからPHS会員の拡大に注力することやまた恒久基金の前年度の運用益が12%であり死んだ後でも財政的に社会貢献できる恒久基金への寄付を促すこと、DDF（地区財団活動資金）の繰越金は、地区の恒久基金として設立可能であること等も周知していきたいと思います。

小生は、今から30数年前にロータリークラブに入会した際に先輩からロータリー財団は、毎年100ドルを寄付すればよいと教えられたくらいの理解でしたが、図らずもガバナーになり、その後、地区ロータリー財団委員長に就任しまして、各クラブにもっと分かりやすく、身近なロータリー財団を目指して、委員会の人事や地区補助金の支給基準を見直しました。その効果は、地区補助金の申請件数が一挙に3倍になり、現在も約70%以上のクラブが地区補助金やグローバル補助金を申請して奉仕活動に活用しています。

また前年度に第2560地区では、地区補助金の申請・報告を電子システム化して申請フォーマットに記載することで補助金委員会はじめ関係部署の負担を減らすことができました。情報の共有化と入力ミス、添付漏れの自動チェックにより経験のない会員でも正確に申請書・報告書の作成が可能となり作業時間が削減されて大いに効果を発揮しています。最後になりますが、時代に追いつき適応しようとしているロータリーを支えるロータリー財団の理解者、協力者をもっと増やすために様々な仕方があると思いますので関係各位のご教授をいただき任務を務めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。



コーディネーター NEWS

2026年1月号 No.2

発行 : Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 国際大会推進チーム

笑いあり、涙あり「3つの手法」を熱演

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 樋口 明（神奈川 RC）

第2地域では、若林 英博 RMC が提唱された「3つの手法(戦略的オープン例会・衛星クラブの設立・クラブ独自の会員種)」の実践を強力に推し進めております。

1.戦略的オープン例会(ロータリーの友 2025年8月号 P10,11 参照):会員増強は総論だけでは机上の空論に過ぎず、緻密に計画しクラブ一丸となって取り組むという泥臭さこそ重要であります。戦略的オープン例会は、会員増強の面が強調されがちではありますが、実は会員維持の側面が強いものです。ゲスト(会員候補者)の情報を事前に共有し、会員全員が役割分担をしてゲストを温かく迎えるためには、クラブ全員で取り組まなければならず、それにより結束力が高まり、大いに盛り上がり、活性化に繋がることになります。



2.衛星クラブの設立:柔軟で参加しやすく自主的に運営ができることが、最大の魅力です。「元会員」、「会社の仲間」、「趣味の仲間」、「同窓生」、「地域の仲間」、「奉仕活動の仲間」など、さまざまつながりから創ることができ、衛星クラブは、無限の可能性を秘めています。

3.クラブ独自の会員種別:心の底からロータリーが大好きな方に、手を差し伸べる仕組みです。「シニア」、「家族」、「Web」、「法人」、「準会員」、「ユース」など。常日頃より会員のことを第一に考えていれば、自然とアイデアが湧いてくるはずです。

皆様のご記憶に新しいことと思いますが、昨年11月19日、20日に横浜で開催されました【第54回ロータリー研究会】の第1セッション「もっと元気なクラブになろう—増減カーブを前年より上向きに」では、3つの手法を体現する寸劇をご披露しました。企画立案、シナリオ、キャスティング、演技指導等々、総監督である若林 RMC の思いが込められた名作がありました。迫真的演技をご披露くださいました俳優陣の皆様には、心より御礼申し上げます。

(写真左:白鳥敬日瑚 ARMC 写真右:黒川伸一 ARMC)



また、第3セッションの「退会防止とクラブの持続的成長」では、2024-27年度 RI 会員増強委員会の岩澤あゆみ委員 (RID2780 茅ヶ崎 RC) にご講演いただきました。

【ロータリーの未来は「居場所づくり」から始まる】

Connection Purpose Growth
 心がつながるクラブは、会員が育ち、人が集まり、未来へと続く。
 行動しなければ、何も変わりません。
 まずは、やってみましょう！



コーディネーター
NEWS

2026年1月号 No.3

発行 : Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

謹賀新年

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 谷 宗光(和泉RC)

親愛なるロータリー会員のみなさま。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

私たちロータリー会員は、2026年も四つのテストに照らし、

・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうかを
心にたずさえて、地域社会や世界のさまざまな問題解決のために、人道的奉仕活動を行い、
高い倫理基準の措置と、人間形成のために日々精進して参りましょう。



さて、私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、昨年も10月の「世界ポリオデー」を前面にPRし、同時にロータリーの知名度向上のために、日本経済新聞(10月18日)に一面広告を掲載させて頂きました。



それと時を同じくして全国の各クラブ・各地区で、開催して頂いております、様々なイベント活動の記録にあたる「ポリオ根絶フォトコンテスト」の募集もさせて頂きました。ロータリーは長年にわたりポリオ(小児まひ)の根絶に対し支援して来ており、ワクチン提供や啓発活動を続けています。その活動の一コマの写真は、どの作品も、「見る人に感動を与え、ポリオ根絶への願いを伝える一枚」とっていました。その選考は、単なる集合写真ではなく「想い」「ストーリー性」「メッセージ性」を重視させて頂きました。

そして応募総数194件がエントリーされ、地域リーダーの皆様の厳正なる投票で、194件から8件を入選作とさせて頂き、その8件の中からRI会長賞、RI理事賞等の各賞を決定させて頂きました。

- ・RI会長賞 2790地区 富里RC
 - ・TRF管理委員長賞 2820地区 水戸RC
 - ・RI理事賞-1 2690地区 松江南RC 理事名:スザン・ステンバーグ
 - ・RI理事賞-2 2500地区 釧路北RC 理事名:サルバドール・リツツオ・ダバレス
 - ・水野RI理事賞 2720地区 熊本中央RC
 - ・辰野TRF管理委員賞 2790地区 千葉西RC
 - ・四宮RI理事エレクト賞 2790地区 千葉RC
 - ・中谷RI理事エレクト賞 2820地区 北茨城RC
- 応募いただきました皆様本当にありがとうございました。

今年も引き続き、この事業は行われる予定だと伺っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

11月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2025.11.30	増減	内女性
1	深川	3	28	30	2	2
	幌	3	33	32	-1	2
	留萌	2	22	23	1	4
	小計		83	85	2	8
2	赤平	2	20	19	-1	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	3	41	41	0	2
	滝川	2	82	82	0	7
	小計		170	169	-1	13
3	美唄	2	21	20	-1	2
	江別	4	32	34	2	2
	江別西	2	31	29	-2	1
	岩見沢	2	89	95	6	2
	岩見沢東	3	9	9	0	0
	栗沢	2	13	13	0	0
	栗山	3	22	23	1	4
	当別	2	27	27	0	3
	小計		244	250	6	14
4	札幌	2	105	127	22	4
	札幌はまなす	2	27	29	2	3
	札幌北	2	31	33	2	6
	札幌モーニング	2	34	34	0	0
	札幌西	2	44	45	1	9
	札幌西北	2	28	28	0	4
	札幌手稲	3	31	31	0	3
	小計		300	327	27	29
5	札幌東	2	95	99	4	3
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	2	59	62	3	6
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札幌南	2	74	74	0	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新札幌	3	19	20	1	5
	小計		298	306	8	30
6	岩内	2	30	30	0	1
	俱知安	2	34	33	-1	4
	小樽	4	73	73	0	5
	小樽南	2	49	51	2	5
	小樽錢函	3	10	10	0	1
	蘭越	2	7	7	0	0
	余市	3	38	38	0	4
	小計		241	242	1	20

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名（内女性会員1名）を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数3名（内女性会員1名）を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数7名（内女性会員0名）を含む

11月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,312人(203人)
増加会員数	63人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2025.11.30	増減	内女性
7	千歳	3	78	78	0	11
	千歳セントラル	2	41	41	0	9
	恵庭	4	41	44	3	4
	北広島	2	18	18	0	2
	長沼	1	16	16	0	3
	小計		194	197	3	29
8	えりも	2	16	15	-1	1
	三石	1	10	10	0	0
	様似	2	5	5	0	1
	静内	2	55	53	-2	5
	浦河	2	21	23	2	3
	小計		107	106	-1	10
9	伊達	2	53	53	0	2
	室蘭	2	26	26	0	4
	室蘭東	2	29	29	0	2
	室蘭北	2	45	46	1	1
	登別	4	31	30	-1	2
	洞爺湖	2	11	11	0	1
10	小計		195	195	0	12
	函館	4	66	69	3	5
	函館亀田	2	29	29	0	3
	森	2	30	32	2	2
	七飯	3	14	14	0	0
11	長万部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	26	26	0	2
	小計		174	179	5	12
	江差	2	10	10	0	0
12	函館五稜郭	2	46	53	7	2
	函館東	2	32	35	3	5
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		100	110	10	7
12	白老	2	28	30	2	4
	苦小牧	3	57	59	2	4
	苦小牧東	4	30	29	-1	9
	苦小牧北	3	28	28	0	2
	小計		143	146	3	19
合計			2,249	2,312	63	203

地区カレンダー 1月・2月

1月 職業奉仕月間	
1 (木)	元旦
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	~15日(木)国際協議会(アメリカ・オーランド)
12 (月)	成人の日
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	
24 (土)	ガバナー補佐会議(函館)
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	ロータリーフェローズワークショップ(札幌)

2月 平和構築と紛争予防月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第9グループIM(室蘭)
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	建国記念の日
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	2026-27年度地区チーム・ラーニングセミナー(札幌)
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	天皇誕生日
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	

ガバナー事務所からお願ひ

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から 15 日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようにお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいます
ようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真 1 ~ 2 枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月 5 日です。(メールでのご連絡にご協力ください)

よいことの
ために
手を取りあおう

